

2年次「総合的な探究の時間」代表者発表会

2月9日(火)「代表者発表会」を本校体育館にて3名の助言者をお招きし開催しました。1月26日(火)に各ゼミごとの発表会を行い、その中から選ばれた7テーマが今回の発表になりました。どの発表にも工夫が見られ、1年間の活動成果が十分伝わる堂々とした発表でした。また、助言者の先生方には、発表ごとにご指導やご助言をいただき大変有意義な発表会になりました。以下に、探究テーマと発表会の様子を紹介いたしますのでご覧ください。

●助言者

東北芸術工科大学 デザイン工学部 プロダクトデザイン学科 教授 柚木泰彦 氏
 デザイン工学部 企画構想学科 教授 山下英一 氏
 芸術学部 美術科 総合美術コース 専任講師 石沢恵理 氏

●探究テーマ

| 分野 | テーマ |
|----------------------|---|
| 1.生活・健康科学 | 「安全で効果的なダイエット法とは～女子高生ダイエッターの未来を守るために～」 |
| 2.人文・哲学 | 「ストレスと上手に付き合うために」 |
| 3.自然科学・情報 | 「池の水を綺麗にするには？」 |
| 4.キャリア甲子園 | 「[ミツカン]～半径1メートルの幸せをもう一度～」 |
| 5.社会科学・国際理解 | 「外国人労働者とめざす MWP」 |
| 6.教育・芸術表現 | 「特別支援学級の子供たちがよりよく学ぶために」 |
| 7.Change Maker wards | 「Let' s think about Shelters - From Women' s Perspective」 |



助言者より

- ・自分ごと化する、自分たちができることは何か、自分たちでやってみよう…実践が伴うことで高校生の探究活動はより深まる。
- ・口頭でしゃべっていることをビジュアル化する。五感で感じるプレゼンの工夫を。
- ・他者に共感することが大切。相手を説得するためのプレゼンではないし、説得しようとしなない。相手に共感してもらえるような内容にすべき。今回のプレゼンの端々に共感できる部分があって大変良かった。
- ・自分個人の動機やエピソードを取り入れながらの探究の展開があると面白い活動になる。
- ・西高生ならでは、女性ならではの視点が随所にあり良かった。欲を言えば、私だったら…という提案をして欲しい。自分の生活に置き換えた時に、どうすればテーマとリンクするのかを具体的に考えてみたらどうか。実践とワクワク感を深めてもらいたい。
- ・問いの正解を探すことよりも、面白さを追求…そういう視点も必要か。